

「多文化共生」を考える研修会2011 開催結果

1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会の多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

2 主催

(財)兵庫県国際交流協会、兵庫県、兵庫県教育委員会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、神戸市

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月19日（金）国際健康開発センター 交流ホール			
外国人を取り巻く困難な状況	13:30～13:40	主催者あいさつ	(財)兵庫県国際交流協会 理事長 齋藤 富雄 (特活)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣吉
	13:40～15:10	マイノリティの貧困状況～改善の必要性～	堤 未果(ジャーナリスト)
	15:30～16:45	東日本大震災の外国人被災者の現状	後藤 キャサリン(HAWAK KAMAY FUKUSHIMA 会長、福島県国際交流協会タガログ語通訳員)
8月22日（月）国際健康開発センター 交流ホール			
外国にルーツを持つ子どもへの教育	13:30～15:00	イギリスの多文化教育が日本の教育に示唆するもの	田淵 五十生(福山市立大学教授)
	15:15～16:45	外国人の子どものエンパワーメント ～すたんどばいみーの子どもたちとの関わりから	清水 睦美(東京理科大学准教授)
8月26日（金）海外移住と文化の交流センター ホール			
生活者としての外国人の日本語支援	13:30～15:00	生活者としての外国人の日本語支援 ～外国人定着支援日本語システム	太田 祥一(群馬県生活文化部国際課課長補佐)
	15:15～16:45	多文化共生と日本語教育 ～日本語教育にできることとできないこと～	伊藤 健人(群馬県立女子大学准教授)
8月29日（月）ビジネスプラザひょうご ホール			
外国人県民の活力を活かした地域経済の活性化	13:30～15:00	外国人人材との協働:兵庫県だからできること	井口 泰(関西学院大学教授)
	15:15～16:45	在日コリアン企業の歴史と現状 ～地場のケミカル産業の変遷を通じて～	金 泰煥(大久ラバー株式会社専務取締役)